

普及啓発事業【福島県南相馬市】

＝遺族支援「南相馬わかちあいの会」講演会＝

(実施期間) 平成 24 年度

(基金事業メニュー) 普及啓発事業

(実施経費) 60 千円

(実施主体) 福島県南相馬市

【事業の背景・必要性・目的】

東日本大震災により多くの市民の命が奪われ、予期せぬ死に直面し生きる気力を失う遺族に支援の必要性を感じ、「南相馬わかちあいの会」を開催。しかし死別体験は複雑な思いを抱えることが少なくないため、震災に限らず大切な方を亡くした方を対象に毎月1回開催している。会の認識はあっても「出かけて話したいとは思えない」、「どのようなことをする会なのかわからない」との声がきかれたため、より広くわかちあいの会についての周知、理解が深められること、参加された方が悲しみと向き合い、死別の痛み・傷みから回復し、その人らしい生き方ができるための一助となることを目的に講演会を実施する。

【地域の特徴・自殺者数の動向】

東日本大震災による直接死：636人

〃 関連死：396人 (H25. 02. 20 現在)

南相馬市自殺率：平成 22 年 22.6 (人口 10 万対)

自殺者数の動向は、平成 18 年市町村合併以降横ばい状態

総人口	年齢 3 区分別人口		
	年少 (0~14 歳)	生産 (15~64 歳)	老年 (65 歳以上)
66,074 人	8,113 人	39,593 人	18,368 人

(出典：南相馬市住民基本台帳人口【H24. 9. 30】現在)

【事業目標 事業内容】

- ・ 自死や東日本大震災等で大切な方を亡くした方が、悲しみと向き合い、死別の痛み・傷みから回復し、その人らしい生き方ができるための一助となる。
- ・ 平成 23 年 10 月に設立された「南相馬わかちあいの会」を広く地域に周知する。
- ・ 平成 24 年 6 月 10 日実施
- ・ 内容 ①講演「悲しみの諸相」

講師：立教女子学院短期大学 学長（「ちいさな風の会」代表）若林一美氏

②シンポジウム「悲しみに向き合うこと、わかち合うこと」

コメンテーター：若林一美

コーディネーター：杉本脩子（NPO 法人全国自死遺族総合支援センター）

シンポジスト

○「じいちゃん、ばあちゃんを亡くして」（震災遺族の方）

○「頑張りすぎていませんか？」（南相馬市保健師）

○「男だって泣きたい時がある」（学識経験者）

③交流会

【事業実施にあたっての運営体制】

講演会は南相馬市が主催であるが、「南相馬わかちあいの会」は、NPO 法人全国自死遺族総合支援センター、NPO 法人ライフリンク、福島れんげの会の協力をいただき実施している。講演会についても、講師の選定や内容等助言をいただきながら実施した。

【事業の工夫点】

- ・講演会であれば内容のイメージがつきやすく、わかちあいの会への参加にためらいのある方も参加しやすいのではないか、また、チラシ等での周知よりも会への理解が深められるのではないかと考えた。内容についても講演のみではなく、参加者がより思いの共有が図られるようシンポジウムとして当事者（震災遺族）や男性の立場からの体験談を取り入れた。
- ・講演会に参加できなかった方も講演内容を聞けるよう、被災地メディア（南相馬チャンネル※1）で放送した。
- ・取材に際しては、参加者のプライバシーの保護に努めた。

※1「南相馬チャンネル」は、地上デジタル放送と同じハイビジョン映像を用いたフルセグ放送及びワンセグ放送により、仮設住宅、避難所を中心とした地域社会のコミュニケーションを円滑化することを目指しており、市長からのメッセージ、市が実施する行事、学校行事、生活情報、復興状況などを取材し届けるとともに、市のお知らせ（広報や市のHPに準ずる）や市内各地の放射線モニタリング情報等をデータ放送にて視聴者に届けている。

【事業成果、その他特筆すべき点】

- ・講演会開催を通し、広報や訪問等により遺族への周知を図ったことで、わかちあいの会への理解が深められたと思われる。また、以前からわかちあいの会へ関心をもたれていた方が、講演会参加をきっかけにわかちあいの会へ参加された。講演会のような機会を含め、継続した活動を続けていくことですこしずつ成果につながっていくと思われる。
- ・講演会に参加された方から、自分一人ではないこと、涙を流せる場所を見つけた、悲しみの受け止め方や捉え方の違いに気づいた等の感想が聞かれ、悲しみへの向き合い方への一助になったと思われる。

（問合せ先） 福島県南相馬市 健康福祉部健康づくり課
 TEL:0244-23-3680
 E-mail:kenkodukuri@city.minamisoma.lg.jp
 URL : http://www.city.minamisoma.lg.jp/